



日本公共政策学会

Public Policy Studies Association

学会概要

入会案内

研究大会

研究会掲示板

データベース

ダウンロード

『公共政策研究』

ホーム

事務局

[公共政策フォーラム2007 in 京都](#)
[2007年度研究大会 \(東北大学\)](#)

公共政策フォーラムin京都2007 2007年9月2日～3日開催

1. [プログラムについて](#)
2. [学生政策コンペ要綱](#)
3. 大会要綱および学生政策コンペ申込書 ([Word](#)、[PDF](#))

開催要項

1. 趣 旨

これまで行政が担ってきた公共的活動は、市民・行政・企業など多様な主体間の役割分担と連携によって幅広く展開される「新しい公共」概念によって大きく変化しつつある。

しかし、協働型社会を担うべき市民社会、行政及び企業の三者に共通する公共的人材の育成を目的とする教育研修及び資格付与のシステムは国際的にも形成途上にある。一方、日本の公共政策系学部・大学院は依然増加傾向にあるが、協働型社会を担う人材としてのキャリアパスが明確でなく、人材の有効活用と最適配置のための新たな社会的システムの構築が急がれている。

本フォーラムでは、京都府内の大学・自治体・NPO・経済界の参加を得て発足した地域人材開発機構研究会の成果をふまえて、各セクターの連携に基づく地域教育研修ネットワークの確立、教育研修プログラムの地域における認証制度の確立、および一定の職能資格の制度化の可能性を検討し、またその主体となる機関の構成と組織運営のあり方を検討する。

2. 名 称

「公共政策フォーラム2007 IN 京都」

3. テーマ

協働型社会を支える地域公共人材を考える ～地域公共人材の育成と社会的認証の制度化

4. 開催日時 2007年9月3日(月)、4日(火)

5. 会 場

9月3日 [京都大学総合人間学部棟](#)

9月4日 [京都大学時計台記念館国際会議場](#)

6. 主 催

「公共政策フォーラム2007 IN 京都」実行委員会
 日本公共政策学会、龍谷大学地域人材公共政策開発、システム・オープンリサーチセンター (LORC)、地域公共人材開発機構に関する研究会)

共 催

(財) 大学コンソーシアム京都

7. 参加費 無料 (交流会参加費は別途)

8. 事務局

龍谷大学地域人材公共政策開発システム・オープンリサーチセンター (LORC)
 連絡先 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
 TEL 075-645-2154 FAX 075-645-2240
 富野暉一郎 (センター長)、担当 田村 瞳

9. 後援等 自治体、NPO、経済団体、省庁等調整中

このページを印刷される場合には、下記PDFファイルが便利です。

10. プログラム

第一日目 9月3日(月)

13:00~17:00 学生による政策コンペ(分科会方式)

「21世紀の公共政策を考える」(政策分析、政策提案等)

17:00~17:30 審査

17:30~17:45 審査結果の発表

18:00~19:30 ウェルカム・パーティー(招待者、会員、学生等)

第二日目 9月4日(火)

09:30~10:30 見学「非公開国宝飛雲閣(予定)」

11:00~11:30 基調講演I 「協働型社会における人材の育成と活用」

講演者:新川達郎(同志社大学)

11:30~12:00 基調講演II 「公共政策系高等教育機関の認証・評価」

講演者:文部科学省関係者(調整中)

13:00~13:30 優秀発表表彰

13:40~14:00 報告「地域人材開発機構に関する研究会の研究成果」

報告者:富野暉一郎(龍谷大学)

14:15~16:30 パネルディスカッション「公共政策系教育研修システムとその社会的認証」

コーディネーター:足立幸男(京都大学)

パネラー(調整中)

注 講演者等については調整中につき今後変更することがあります。

学生による政策コンペ募集要領

このページを印刷される場合は、下記のPDFファイルが便利です。

1. 企画の趣旨

公共政策学を学ぶことは、社会の現実課題に対する鋭い問題意識を持ち、課題を分析し解決策を提示するための方法論を深く身に着けることです。この政策コンペでは、全国から集まった学生が研究成果の発表を通じて相互に刺激しあい、多様な方法論と現実社会への発信力を高めあう機会を提供したいと考えています。

2. テーマ 21世紀の公共政策を考える

分野は問いません。政策提言だけでなく、課題の分析、分析のための方法論など自由に選択して下さい。(発表は応募論文の内容に応じて分科会を設定します)

3. スケジュール

6月15日(金) エントリー(1次申し込み)締め切り(*1、別紙1)

8月17日(金) 発表用予稿提出締め切り(郵送・事務局必着)

8月27日(月) 発表用予稿集配布(審査員、発表者/代表者)

9月3日(月) 午後1時~5時 研究発表(20分)分科会形式

午後5時~5時30分 審査

午後5時30分~5時45分 審査結果の発表

9月4日(火) 午後1時 優秀発表表彰 および優秀研究口頭発表

12月末 優秀研究発表等の論文提出締め切り

2008年2月末まで 政策コンペ論文集発刊・送付

4. 発表の内容について

政策提言だけでなく、地域社会や政策に関する分析・あるいはその方法論なども対象とします。

5. 参加資格 : 学部学生(個人、チーム)**6. 予稿について**

発表用予稿は、論文のアブストラクトとし、字数は3,000字以上。(上限なし)

発表用の予稿の内容も当日の審査対象となります。また、予稿の提出用紙等は、エントリーしたチーム宛に別途送りますので、期限までに事務局に郵送して下さい。

7. 優秀発表の論文提出について

学生政策コンペを充実させていくために、全ての発表を集成した論文集を発行して関係者・関係機関に配付します。特に表彰の対象となった発表は発表後に予稿を論文形式にまとめることを求めますが、その他の発表についても可能な限り予稿を論文形式にまとめ直すこととします。

(*1) エントリー(1次申し込み)用紙(別紙)に必要な事項を記入して締め切り日までに事務局に郵送またはFAXして下さい。

大会要綱および学生政策コンペ申込書 ([Word](#)、[PDF](#))

2007年度研究大会（東北大学）のお知らせ

このページを印刷される場合には、下記PDFファイルが便利です。

2007年度研究大会（東北大学）のお知らせ

1. 大会プログラム [6月9日](#) [6月10日](#)
 2. [大会プログラム表](#)
 3. [バックツアー&大会プログラム \(PDF\)](#)
 4. [バックツアー申込書 \(Word\)](#)
 5. [アクセスマップ \(東北大学・ホームページ\)](#)
-

2007年度研究大会プログラムの概要

2007年度研究大会企画委員長 御厨 貴

本学会は、公共政策研究に関わる様々な研究領域に属する研究者や実務家によって構成されていることから、研究大会の内容も様々であります。2007年度は共通テーマとして「変化の時代の規範と合意」を設定しました。

社会状況の変化の速度が急激に上昇している中、どのような規範の下で、どのような道筋で合意を形成し、公共政策に結びつけていくかが、国・地方いずれでも大きな課題となっています。各論においても、教育問題、環境問題、医療問題、都市問題など、合意形成が大きなポイントとなる分野の重要性が高まっています。このような状況のもとで、政策形成の主体及び各分野での政策の実態と課題を明らかにし、これからの政策形成にとって有益な見通しを提供することに、学会として貢献したいという思いからこの共通テーマを設定しました。企画委員会としては、このテーマに基づいてシンポジウムやセッションを企画しています。

今年度の特徴として、シンポジウムに、政府で大きなトピックとなった経済の問題と教育の問題を取り上げました。また、各セッションも、時宜に合ったテーマを設定し、発表も気鋭の方々をお願いをしています。会員の皆さんが、先進かつ本格的なシンポジウム、セッション内容に刺激され、多くの示唆を受けることができる場が提供できれば幸いです。

共通テーマ 「変化の時代の規範と合意」

開催場所：東北大学川内北キャンパス、B棟・メディアセンター内各会場

第1日 6月9日(土)

9:30～11:30 研究報告

A 事業実施のための政策 司会・コメンテーター 未定

南聡一郎（京都大学）「フランスにおける財政型の都市交通政策」

湯川創太郎（京都大学）「公共交通政策における生産性アプローチとその適用」

砂原庸介（大阪大学）「事業廃止の政治学－都道府県のダム事業を対象に－」

B 市民の政策形成への関与 司会・コメンテーター 未定

加藤良太（同志社大学）「最近のODA政策形成過程の動向と市民参加の課題？「ホワイトバンド」と「ODA一元化」を中心に？」

濱崎晃（早稲田大学）「環境政策形成過程における研究型NGO/NPOの役割？『市民主導型シンクタンク』の可能性を中心に？」

山本奈生（仏教大学）「「安全」と「安心」のユートピア－京都市の取り組みを一事例として」

C 行政主体と市民との関係 司会・コメンテーター 未定

藤本吉則（財団法人ふくしま自治研修センター）「電子自治体による規格化・標準化と住民登録情報」

菊地端夫（明治大学）「イギリス行政改革における市民の信頼回復への取り組み」

中村文子（東北大学）「国際公共政策としての人権条約の履行－コンストラクティヴィズムと国際慣習法による拷問等禁止条約の分析を一例として－」

D 政策分析 司会・コメンテーター 未定

吉澤剛（サセックス大学）「政策分析はどのように用いられているか？Q方法論による見解の複数性の同定」

九里徳泰（中央大学）「Community Social Responsibility（自治体によるCSR）と持続可能性指数の国際比較」

細見佳子（九州大学）「市民社会論からみた社会保障制度の在り方」

壬生裕子（同志社大学）「手段と経路による自治体政策の分析」

11:30～12:30 昼休み・理事会

12:30～14:30 シンポジウム1

「小泉・安倍政権の経済政策」

パネリスト: 翁邦雄 (中央大学、元日銀金融研究所長)、高橋伸彰 (立命館大学)、松原聡 (東洋大学)

司会者: 飯尾潤 (政策研究大学院大学)

14:45～16:45 セッション1

A 「三権の相互作用と政策形成」

報告者: 福元健太郎 (学習院大学)、増山幹高 (慶應義塾大学)、辻陽 (近畿大学)、上神貴佳 (東京大学)

討論者: 曾我謙悟 (大阪大学)

司会者: 山田真裕 (関西学院大学)

B 「安全・安心と社会の認識」

報告者: 黒須卓 (東京大学)、渡部幹 (京都大学)、宮田満 (日経BP社)

司会者: 坂本孝治郎 (学習院大学)

C 「脱炭素社会に向けた日本の気候変動政策」

報告者: 天野明弘 (兵庫県立大学、中央環境審議会地球環境部会委員)、松本泰子 (京都大学)、福山哲郎 (参議院議員・環境委員会理事)

討論者: 植田和弘 (京都大学)

司会者: 諸富 徹 (京都大学)

D 「ローカル・マニフェストがつくる新しい自治体」

報告者: 北川正恭 (早稲田大学)、立谷秀清 (相馬市長)、後房雄 (名古屋大学)

司会者: 山本啓 (東北大学)

17:00～17:40 会長講演 森脇俊雅 (関西学院大学) 「地域民主主義の再構築に向けてー現状と課題ー」

17:40～18:10 総会

(バスで移動)

18:40～20:40 授賞式・懇親会 (仙台エクセルホテル東急)

第2日 6月10日(日)

9:30～11:30 セッション2

A 「国際公共政策におけるコンプライアンスの問題」

報告者: 鈴木基史 (京都大学)、横田匡紀 (東京理科大学)

討論者: 山本武彦 (早稲田大学)

司会者: 宮脇昇 (立命館大学)

B 「医師不足を考える」

報告者: 関山昌人 (厚生労働省医政局国立病院課長 (元岩手県保健福祉部長))、金村政輝 (東北大学)、石杜有慎 (岩手日報社論説委員)、熊坂義裕 (宮古市長)

司会者: 坂口正治 (株) 日本能率協会コンサルティング

C 「自治体議会制度改革に向けて」

報告者: 中尾修 (北海道栗山町議会事務局長)、西寺雅也 (多治見市長)、竹下譲 (四日市大学)

討論者: 廣瀬克哉 (法政大学)

司会者: 青山 崇 (多治見市役所)

D 「バブル経済対策過程の日韓比較」 (日韓交流セッション)

報告者: 竹中治堅 (政策研究大学院大学)、金東桓 (Dong-hwan, Kim) (Jungang University)

討論者: 高安雄一 (内閣府)、廉載鎬 (Yeom, Jaeho) (Korea University)

司会者: 辻中豊 (筑波大学)

11:30～12:30 昼休み・理事会

12:30～14:30 セッション3

A 「自治体における市場化テストの課題と展望」

報告者: 橋本博之 (立教大学)、坂田道夫 (足立区区民部長)、稲澤克祐 (関西学院大学)

司会者: 今井照 (福島大学)

B 「防災政策の長期戦略」

報告者: 永田尚三 (武蔵野大学)、山崎栄一 (大分大学)、永松伸吾 (防災科学技術研究所)

司会者: 長坂俊成 (防災科学技術研究所)

C 「内閣法制局の機能をどう評価するか」

報告者：大石眞（京都大学）、中村明（元共同通信）、平岡秀夫（衆院議員）

討論者：田中一昭（拓殖大学）

司会者：西川伸一（明治大学）

D 「合意形成と政策：景観・まちづくり分野を事例として」

報告者：阿部昌樹（大阪市立大学）、内海麻利（駒澤大学）、佐藤徹（高崎経済大学）

司会者：伊藤修一郎（筑波大学）

14:45~17:00 シンポジウム2

「教育再生の行方」

パネリスト: 山崎正和（中教審会長）、寺脇研（京都造形芸術大学）、熊坂伸子（普代村教育長）

司会者：御厨貴（東京大学）

日時	内容	会場・備考
6月8日（金） 17:00-19:00	理事会	メディアセンター6 F M602
6月9日（土） 9:00-	受付開始 BC棟1F	一般会員控え室B101 事務局B102
9:30-11:30	若手研究者セッションAB 若手研究者セッションCD	B棟、メディアセンター6 F B103,B104 M601,M602
11:30-12:30	理事会	メディアセンター4 F M406
	昼食	川内生協食堂
12:30-14:30	シンポジウム1 「小泉・安倍政権の経済政策」	メディアセンター・ホール2F M206
14:45-16:45	セッション1 A 「三権の相互作用と政策形成」 B 「安全・安心と社会の認識」（仮題） C 「『脱炭素社会』に向けた日本の気候変動政策」 D 「ローカル・マニフェストがつくる新しい自治体」	B棟メディアセンター6F B103 B104 M601 M602
17:00-17:40	会長講演、森脇俊雅 「地域民主主義の再構築に向けてー現状と課題ー」	メディアセンター・ホール2F M206
17:40-18:10	総会（終了後、バス移動：乗降を含めて約20分）	
18:40-20:40	授賞式 懇親会	仙台エクセルホテル東急
6月10日（日） 9:00-	受付開始 BC棟1 F	一般会員控え室B101 事務局B102
	セッション2 A 「国際公共政策におけるコンプライアンス問題」 B 「医師不足を考える」	B棟、メディアセンター6F B103

9:30-11:30	<p>「自治体議会制度改革に向けて」</p> <p>C 「自治体議会制度改革に向けて」</p> <p>D 「バブル経済対策過程の日韓比較」 (日韓交流セッション)</p>	<p>B104</p> <p>M601</p> <p>M602</p>
11:30-12:30	理事会	メディアセンター4F
	昼食	川内生協食堂
12:30-14:30	<p>セッション3</p> <p>A 「自治体における市場化テストの課題と展望」</p> <p>B 「防災政策の長期戦略」</p> <p>C 「内閣法制局の法案審査の現場」</p> <p>D 「合意形成と政策：景観・まちづくり分野を事例として」</p>	<p>B棟、メディアセンター6F</p> <p>B103</p> <p>B104</p> <p>M601</p> <p>M602</p>
14:45-17:00	シンポジウム2 「教育再生の行方」	メディアセンター・ホール2F
17:25	仙台空港直通チャーターバス出発	川内北キャンパス正門前

2007年度研究大会プログラムの概要

2007年度研究大会企画委員長 御厨 貴

本学会は、公共政策研究に関わる様々な研究領域に属する研究者や実務家によって構成されていることから、研究大会の内容も様々であります。2007年度は共通テーマとして「変化の時代の規範と合意」を設定しました。

社会状況の変化の速度が急激に上昇している中、どのような規範の下で、どのような道筋で合意を形成し、公共政策に結びつけていくかが、国・地方いずれでも大きな課題となっています。各論においても、教育問題、環境問題、医療問題、都市問題など、合意形成が大きなポイントとなる分野の重要性が高まっています。

このような状況のもとで、政策形成の主体及び各分野での政策の実態と課題を明らかにし、これからの政策形成にとって有益な見通しを提供することに、学会として貢献したいという思いからこの共通テーマを設定しました。企画委員会としては、このテーマに基づいてシンポジウムやセッションを企画しています。

今年度の特徴として、シンポジウムⅠ、Ⅱに、政府で大きなトピックとなった経済の問題と教育の問題を取り上げました。また、各セッションも、時宜に適ったテーマを設定し、発表も気鋭の方々をお願いをしています。

会員の皆さんが、先進かつ本格的なシンポジウム、セッション内容に刺激され、多くの示唆を受けることができる場が提供できれば幸いです。

共通テーマ 「変化の時代の規範と合意」

開催場所：東北大学川内北キャンパス、B棟・メディアセンター内各会場

第1日 6月9日(土)

9:30～11:30 研究報告

A 事業実施のための政策 司会・コメンテーター 未定

南聡一郎（京都大学）

「フランスにおける財政型の都市交通政策」

湯川創太郎（京都大学）

「公共交通政策における生産性アプローチとその適用」

砂原庸介（大阪大学）

「事業廃止の政治学—都道府県のダム事業を対象に—」

B 市民の政策形成への関与 司会・コメンテーター 未定

加藤良太（同志社大学）

「最近のODA政策形成過程の動向と市民参加の課題—「ホワイトバンド」と「ODA一元化」を中心に—」

濱崎晃（早稲田大学）

「環境政策形成過程における研究型NGO/NPOの役割—『市民主導型シンクタンク』の可能

性を中心にー」

山本奈生（仏教大学）

「「安全」と「安心」のユートピアー京都市の取り組みを一事例として」

C 行政主体と市民との関係 司会・コメンテーター 未定

藤本吉則（財団法人ふくしま自治研修センター）

「電子自治体による規格化・標準化と住民登録情報」

菊地端夫（明治大学）

「イギリス行政改革における市民の信頼回復への取り組み」

中村文子（東北大学）

「国際公共政策としての人権条約の履行ーコンストラクティヴィズムと国際慣習法による拷問等禁止条約の分析を一例としてー」

D 政策分析 司会・コメンテーター 未定

吉澤剛（サセックス大学）

「政策分析はどのように用いられているか？Q方法論による見解の複数性の同定」

九里徳泰（中央大学）

「Community Social Responsibility（自治体によるCSR）と持続可能性指数の国際比較」

細見佳子（九州大学）

「市民社会論からみた社会保障制度の在り方」

壬生裕子（同志社大学）

「手段と経路による自治体政策の分析」

11:30～12:30 昼休み・理事会

12:30～14:30 シンポジウム I

「小泉・安倍政権の経済政策」

パネリスト：翁邦雄（中央大学、元日銀金融研究所長）、高橋伸彰（立命館大学）、松原聡（東洋大学）

司会者：飯尾潤（政策研究大学院大学）

14:45～16:45 セッション I

A 「三権の相互作用と政策形成」

報告者：福元健太郎（学習院大学）、増山幹高（慶應義塾大学）、辻陽（近畿大学）、上神貴佳（東京大学）

討論者：曾我謙悟（大阪大学）

司会者：山田真裕（関西学院大学）

B 「安全・安心と社会の認識」

報告者：黒須卓（東京大学）、渡部幹（京都大学）、富田満（日経 BP 社）

司会者：坂本孝治郎（学習院大学）

C 「脱炭素社会に向けた日本の気候変動政策」

報告者：天野明弘（兵庫県立大学、中央環境審議会地球環境部会委員）、松本泰子（京都台

学)、福山哲郎(参議員議員・環境委員会理事)

討論者：植田和弘(京都大学)

司会者：諸富 徹(京都大学)

D「ローカル・マニフェストがつくる新しい自治体」

報告者：北川正恭(早稲田大学)、立谷秀清(相馬市長)、後房雄(名古屋大学)

司会者：山本啓(東北大学)

17:00～17:40 会長講演 森脇俊雅(関西学院大学) 「地域民主主義の再構築に向けて-現状と課題-」

17:40～18:10 総会

(バスで移動)

18:40～20:40 授賞式・懇親会(仙台エクセルホテル東急)

第2日 6月10日(日)

9:30～11:30 セッションⅡ

A「国際公共政策におけるコンプライアンスの問題」

報告者：鈴木基史(京都大学)、横田匡紀(東京理科大学)

討論者：山本武彦(早稲田大学)

司会者：宮脇昇(立命館大学)

B「医師不足を考える」

報告者：関山昌人(厚生労働省医政局国立病院課長(元岩手県保健福祉部長))、金村政輝(東北大学)、石杜有慎(岩手日報社論説委員)、熊坂義裕(宮古市長)

司会者：坂口正治(株)日本能率協会コンサルティング

C「自治体議会制度改革に向けて」

報告者：中尾修(北海道栗山町議会事務局長)、西寺雅也(多治見市長)、竹下譲(四日市大学)

討論者：廣瀬克哉(法政大学)

司会者：青山 崇(多治見市役所)

D「バブル経済対策過程の日韓比較」(日韓交流セッション)

報告者：竹中治堅(政策研究大学院大学)、金東桓(Dong-hwan, Kim)(Jungang University)

討論者：高安雄一(内閣府)、廉載鎬(Yeom, Jaeho)(Korea University)

司会者：辻中豊(筑波大学)

11:30～12:30 昼休み・理事会

12:30～14:30 セッションⅢ

A「自治体における市場化テストの課題と展望」

報告者：橋本博之(立教大学)、坂田道夫(足立区区民部長)、稲澤克祐(関西学院大学)

司会者：今井照(福島大学)

B「防災政策の長期戦略」

報告者：永田尚三（武蔵野大学）、山崎栄一（大分大学）、永松伸吾（防災科学技術研究所）

司会者：長坂俊成（防災科学技術研究所）

C「内閣法制局の機能をどう評価するか」

報告者：大石眞（京都大学）、中村明（元共同通信）、平岡秀夫（衆院議員）

討論者：田中一昭（拓殖大学）

司会者：西川伸一（明治大学）

D「合意形成と政策：景観・まちづくり分野を事例として」

報告者：阿部昌樹（大阪市立大学）、内海麻利（駒澤大学）、佐藤徹（高崎経済大学）

司会者：伊藤修一郎（筑波大学）

14:45～17:00 シンポジウムⅡ

「教育再生の行方」

パネリスト：山崎正和（中教審会長）、寺脇研（京都造形芸術大学）、熊坂伸子（普代村
教育長）

司会者：御厨貴（東京大学）

2007年度日本公共政策学会日程（東北大学川内北キャンパス）

統一テーマ「変化の時代の規範と合意」

日時	内容	参加者、担当等（予定）	会場・備考
6月8日（金） 17:00~19:00	理事会		メディアセンター6F M602
6月9日（土） 9:00~	受付開始 BC棟1F		一般会員控え室 B101 事務局 B102
9:30~11:30	若手研究者セッション AB CD		B棟、メディアセンター6F B103, B104 M601, M602
11:30~12:30	理事会		メディアセンター4F M406
	----- 昼食		----- 川内生協食堂
12:30~14:30	シンポジウム I 「小泉・安倍政権の 経済政策」		メディアセンター・ホール 2F M206
14:45~16:45	セッション I A「三権の相互作用 と政策形成」 B「安全・安心と社 会の認識」（仮題） C『脱炭素社会』 に向けた日本の気 候変動政策」 D「ローカル・マニ フェストがつくる新 しい自治体」		B棟、メディアセンター6F B103 B104 M601 M602
17:00~17:40	会長講演「地域民主 主義の再構築に向け てー現状と課題ー」	森脇俊雅会長	メディアセンター・ホール 2F M206
17:40~18:10	総会		
（バス移動：乗降を含めて約20分）			
18:40~20:40	授賞式 懇親会		仙台エクセルホテル東急

6月10日(日) 9:00~	受付開始 BC棟1F		一般会員控え室 B101 事務局 B102
9:30~11:30	セッションⅡ A「国際公共政策におけるコンプライアンス問題」(仮題) B「医師不足を考える」(仮題) C「自治体議会制度改革に向けて」 D「バブル経済対策過程の日韓比較」(日韓交流セッション)		B棟、メディアセンター6F B103 B104 M601 M602
11:30~12:30	理事会 ----- 昼食		メディアセンター4F M406 川内生協食堂
12:30~14:30	セッションⅢ A「自治体における市場化テストの課題と展望」 B「防災政策の長期戦略」 C「内閣法制局の法案審査の現場」 D「合意形成と政策：景観・まちづくり分野を事例として」		B棟、メディアセンター6F B103 B104 M601 M602
14:45~17:00	シンポジウムⅡ 「教育再生の行方」		メディアセンター・ホール2F
17:25	仙台空港直通チャーターバス出発		川内北キャンパス正門前

2007年度日本公共政策学会 宿泊・交通のご案内

この度、『2007年度日本公共政策学会』が杜の都・仙台で開催されるにあたりまして、参加される皆様のご便宜をはかるため、近畿日本ツーリスト(株)仙台イベント・コンベンション支店が宿泊・交通のお世話をさせていただきますことになりました。ご希望の方はぜひ、お早めにお申し込みくださいますようお願い致します。

ご宿泊のご案内

ご宿泊日：平成19年6月8日(金)～6月10日(日)

- ご宿泊につきましては、1泊朝食付(税金・サービス料込)お1名様特別料金にてご案内します。
- お申込みは表中の申込記号でお願いします(第2希望までご記入下さい)。ご案内は先着順となります

地区	申込記号	ホテル名	シングル	ツイン (2名1室)	最寄り駅案内
会場	①	仙台エクセルホテル東急	12,000	10,000	仙台駅より徒歩13分
会場	②	仙台ワシントンホテル	8,500	7,500	仙台駅より徒歩13分
会場	③	ホテルレオパレス仙台	7,500	7,500	仙台駅より徒歩13分
駅	④	ホテルメトロポリタン仙台	13,000	11,000	仙台駅より徒歩1分
駅	⑤	ホテルモンテレ仙台	12,000	10,000	仙台駅より徒歩1分
駅	⑥	ホテルJALシティ仙台	9,500	8,500	仙台駅より徒歩3分
駅	⑦	チサンホテル仙台	9,500	8,500	仙台駅より徒歩4分
駅	⑧	ホテル東横イン広瀬通	6,500	6,000	仙台駅より徒歩4分

パッケージ旅行のご案内

- 団体割引航空券(平成18年12月現在)をご案内します。(宿泊とあわせてのお申込みとなります)
- 出発時刻などが決定しましたら、弊社からの予約回答書でお知らせします。
- 団体席数の関係でご希望の便が満席の場合、または団体構成人員(5名様)に満たない場合は、原則として通常運賃の適用となりますのでご了承下さい。ご希望の場合、他の便への変更を受け承ります。

往復団体航空券とホテルをセットで必ずご利用ください(航空機のみのご利用はできません)

6月8日(金)～6月10日(日) 3日間

各地 ⇄ 仙台空港 +2泊朝食つきシングル料金表

申込記号	搭乗日	便名	利用区間	出発時間	到着時間	シングルホテル申込記号						
						①	②	③	④	⑤	⑥・⑦	⑧
11	6/8(金)	ANA728	新千歳～仙台	17:40	18:45	54,000	47,000	45,000	56,000	54,000	49,000	43,000
	6/10(日)	ANA729	仙台～新千歳	20:15	21:25							
12	6/8(金)	ANA369	名古屋～仙台	18:35	19:45	50,000	43,000	41,000	52,000	50,000	45,000	39,000
	6/10(日)	ANA370	仙台～名古屋	18:45	20:00							
13	6/8(金)	ANA737	伊丹～仙台	17:00	18:10	54,000	47,000	45,000	56,000	54,000	49,000	43,000
	6/10(日)	ANA740	仙台～伊丹	18:50	20:10							
14	6/8(金)	ANA799	福岡～仙台	17:15	19:00	58,000	51,000	49,000	60,000	58,000	53,000	47,000
	6/10(日)	ANA800	仙台～福岡	19:30	21:30							

各地 ⇄ 仙台空港 + 2泊朝食つきツイン料金表(2名様同時にお申込み下さい)

申込記号	搭乗日	便名	利用区間	出発時間	到着時間	ツインホテル申込記号						
						①	②	③	④	⑤	⑥・⑦	⑧
21	6/8(金)	ANA728	新千歳－仙台	17:40	18:45	50,000	45,000	45,000	52,000	50,000	47,000	42,000
	6/10(日)	ANA729	仙台－新千歳	20:15	21:25							
22	6/8(金)	ANA369	名古屋－仙台	18:35	19:45	46,000	41,000	41,000	48,000	46,000	43,000	38,000
	6/10(日)	ANA370	仙台－名古屋	18:45	20:00							
23	6/8(金)	ANA737	伊丹－仙台	17:00	18:10	50,000	45,000	45,000	52,000	50,000	47,000	42,000
	6/10(日)	ANA740	仙台－伊丹	18:50	20:10							
24	6/8(金)	ANA799	福岡－仙台	17:15	19:00	54,000	49,000	49,000	56,000	54,000	51,000	46,000
	6/10(日)	ANA800	仙台－福岡	19:30	21:30							

6月9日(土)－6月10日(日) 2日間

各地 ⇄ 仙台空港 + 1泊朝食つきシングル料金表

申込記号	搭乗日	便名	利用区間	出発時間	到着時間	シングルホテル申込記号						
						①	②	③	④	⑤	⑥・⑦	⑧
31	6/9(土)	ANA720	新千歳－仙台	08:30	09:35	42,000	38,500	37,500	43,000	42,000	39,500	36,500
	6/10(日)	ANA729	仙台－新千歳	20:15	21:25							
32	6/9(土)	ANA365	名古屋－仙台	08:00	09:10	38,000	34,500	33,500	39,000	38,000	35,500	32,500
	6/10(日)	ANA370	仙台－名古屋	18:45	20:00							
33	6/9(土)	ANA731	伊丹－仙台	08:05	09:15	42,000	38,500	37,500	43,000	42,000	39,500	36,500
	6/10(日)	ANA740	仙台－伊丹	18:50	20:10							
34	6/9(土)	ANA797	福岡－仙台	09:50	11:35	46,000	42,500	41,500	47,000	46,000	43,500	40,500
	6/10(日)	ANA800	仙台－福岡	19:30	21:30							

各地 ⇄ 仙台空港 + 1泊朝食つきツイン料金表(2名様同時にお申込み下さい)

申込記号	搭乗日	便名	利用区間	出発時間	到着時間	ツインホテル申込記号						
						①	②	③	④	⑤	⑥・⑦	⑧
41	6/9(土)	ANA720	新千歳－仙台	08:30	09:35	40,000	37,500	37,500	41,000	40,000	38,500	36,000
	6/10(日)	ANA729	仙台－新千歳	20:15	21:25							
42	6/9(土)	ANA365	名古屋－仙台	08:00	09:10	36,000	33,500	33,500	37,000	36,000	34,500	32,000
	6/10(日)	ANA370	仙台－名古屋	18:45	20:00							
43	6/9(土)	ANA731	伊丹－仙台	08:05	09:15	40,000	37,500	37,500	41,000	40,000	38,500	36,000
	6/10(日)	ANA740	仙台－伊丹	18:50	20:10							
44	6/9(土)	ANA797	福岡－仙台	09:50	11:35	44,000	41,500	41,500	45,000	44,000	42,500	40,000
	6/10(日)	ANA800	仙台－福岡	19:30	21:30							

懇親会のご案内

○ 6月9日(土) 懇親会を開催致しますので事前にお申込み下さい。(一般会員 6,000円、学生会員 3,000円)

シャトルバスのご案内

○ 6月10日(日) 学会終了後、川内北キャンパス 17:25発 仙台空港 18:10着のチャーター便のバスを運行致します。ご利用の方は事前にお申込み下さい。(料金 800円)

お申込み・お取消・変更の方法について

● **申込受付期間:平成19年4月18日(木)～平成19年5月22日(火)**

以下の方法でお申込を受け付けます。いずれかの方法でお申込ください。

- (1) 次ページのお申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリまたは郵送にて送付下さい。
- (2) または Web 画面よりダウンロードいただき、ご記入の上メールにてお申込み下さい。
- (3) お申込書到着後、随時決定ホテルを明記した宿泊確認書を返信します。
- (4) パック旅行希望のお客様は団体構成人員(5名様)になった段階で確認書を送付します。
- (5) 確認書到着後、以下の2つの方法にて平成18年5月31日(木)までにご入金下さい。
 - ・ 銀行送金: 下記専用口座まで指定の期日までご送金ください。
 - ・ クレジットカード: 平成19年5月末日ころに引き落としの作業をします。
必ずお申込書にカード会社名・番号・有効期限・署名をご記入下さい。

● **ご変更・お取消について**

- (1) ご変更・お取消のご依頼は必ずファクシミリまたは e-mail でご連絡下さい。
- (2) お取消の場合は取消料金と返金手数料を申し受けた上で、大会終了後にご返金します。
- (3) 宿泊当日無連絡で不泊の場合、その日以降の予約は自動的に取り消されます。
- (4) ご変更・お取消のお申し出が土・日・祝日の場合、翌営業日が受付日になります。

宿 泊	15 日前まで	14～8 日前	7～2 日前	前日	当日・無連絡
取消料	無 料	宿泊料の 20%	宿泊料の 30%	宿泊料の 50%	宿泊料の 100%
パ ッ ク	21～15 日前まで	14～8 日前	7～2 日前	前日	当日・無連絡
取消料	20%	30%	30%	50%	100%

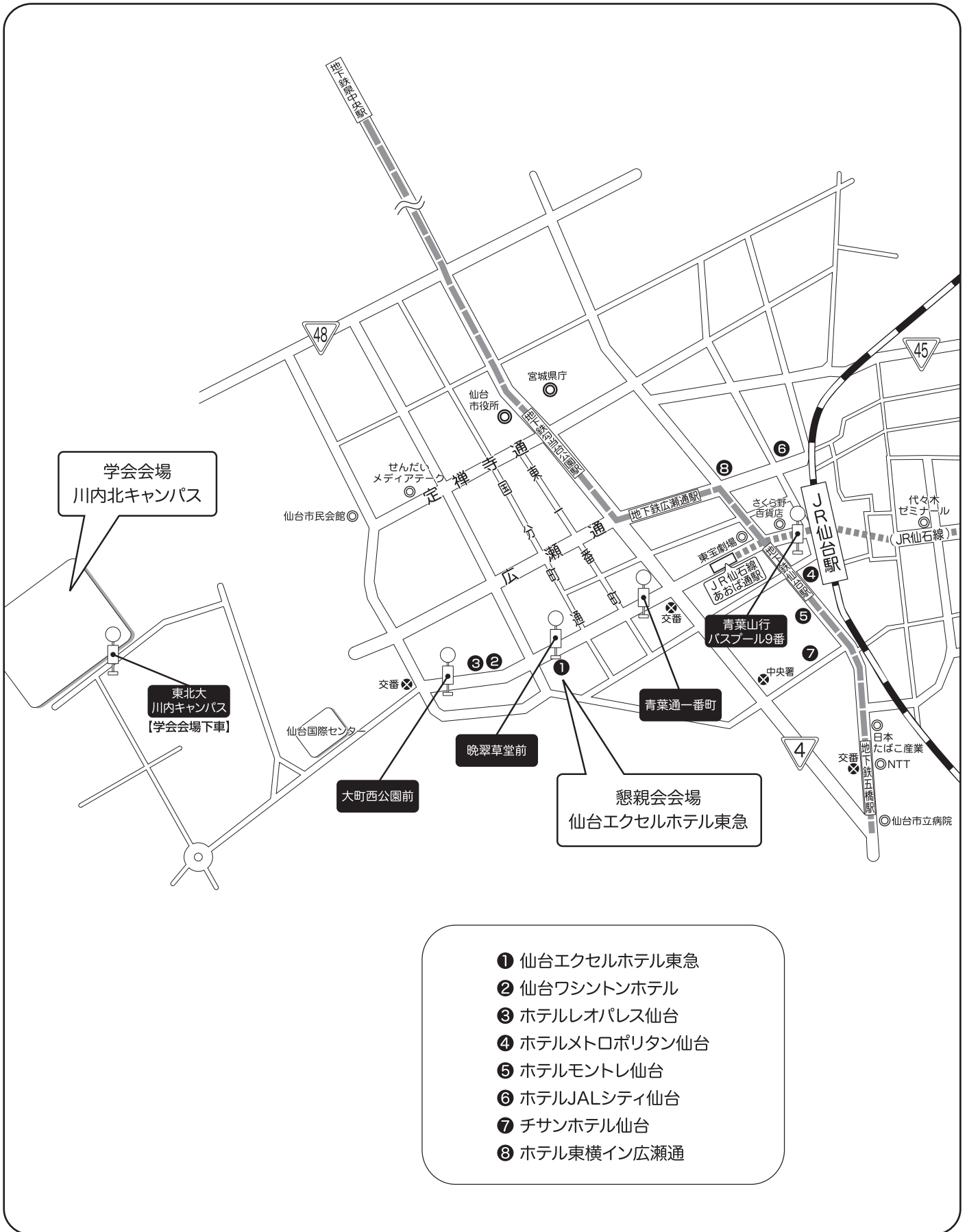
申込締切日:平成19年5月22日(火)必着

銀行振込 : 東京三菱銀行 振込第2支店 (普)0721293 近畿日本ツーリスト(株)

近畿日本ツーリスト株式会社 仙台イベント・コンベンション支店
「2007年度 日本公共政策学会」係 担当: 姥名・網野
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-7-20(東邦ビル4F)
Tel 022-222-4141 Fax 022-221-6188
e-mail: amino851891@mb.knt.co.jp

営業時間: 平日 9:30～17:45(土・日・祝日は、休ませていただきます)

2007度 日本公共政策学会 会場・宿泊案内図



学会会場
川内北キャンパス

東北大
川内キャンパス
【学会会場下車】

大町西公園前

晩翠草堂前

懇親会会場
仙台エクセルホテル東急

- ① 仙台エクセルホテル東急
- ② 仙台ワシントンホテル
- ③ ホテルレオパレス仙台
- ④ ホテルメトロポリタン仙台
- ⑤ ホテルモンテ仙台
- ⑥ ホテルJALシティ仙台
- ⑦ チサンホテル仙台
- ⑧ ホテル東横イン広瀬通

「公共政策フォーラム2007 IN 京都」へのお誘い

07年度の公共政策フォーラムは、本年9月に京都で開催する準備が進んでいます。会員の皆様のご参加とともに、多くの学生諸君の積極的な研究発表への参加を得てより充実したフォーラムとするために、今回は開催要項を新学期の始まる前にお知らせすることにいたしました。会員の皆様のゼミ計画等のご指導に活用していただければ幸いです。

「公共政策フォーラム2007 IN 京都」開催要項

1. 趣旨

これまで行政が担ってきた公共的活動は、市民・行政・企業など多様な主体間の役割分担と連携によって幅広く展開される「新しい公共」概念によって大きく変化しつつある。しかし、協働型社会を担うべき市民社会、行政及び企業の三者に共通する公共的人材の育成を目的とする教育研修及び資格付与のシステムは国際的にも形成途上にある。一方、日本の公共政策系学部・大学院は依然増加傾向にあるが、協働型社会を担う人材としてのキャリアパスが明確でなく、人材の有効活用と最適配置のための新たな社会的システムの構築が急がれている。

本フォーラムでは、京都府内の大学・自治体・NPO・経済界の参加を得て発足した地域人材開発機構研究会の成果をふまえて、各セクターの連携に基づく地域的教育研修ネットワークの確立、教育研修プログラムの地域における認証制度の確立、および一定の職能資格の制度化の可能性を検討し、またその主体となる機関の構成と組織運営のあり方を検討する。

2. 名称 「公共政策フォーラム2007 IN 京都」

3. テーマ 協働型社会を支える地域公共人材を考える

ー地域公共人材の育成と社会的認証の制度化

4. 開催日時 2007年 9月3日(月)、4日(火)

5. 会場 調整中(京都市内の大学)

6. 主催 「公共政策フォーラム2007 IN 京都」実行委員会

(日本公共政策学会、(財)大学コンソーシアム京都、龍谷大学地域人材公共政策開発

システム・オープンリサーチセンター(LORC)、地域公共人材開発機構に関する研究会)

7. 参加費 無料(交流会参加費は別途)

8. 事務局 龍谷大学地域人材公共政策開発システム・オープンリサーチセンター(LORC)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL 075-645-2154 FAX 075-645-2240

連絡先 富野暉一郎(センター長)、担当 田村 瞳

9. 後援等 自治体、NPO、経済団体、省庁等調整中

10. プログラム

< 9月3日（月） >

時 間	事 業	内 容
13:00~17:00	学生による政策コンペ (分科会方式)	21世紀の公共政策を考える (政策分析、政策提案等)
17:00~17:30	審査	
17:30~17:45	審査結果の発表	
19:00~19:30	ウエルカム・パーティー	招待者、会員、学生等

< 9月4日（火） >

時間	事業	内容
09:30~10:30	見学	非公開国宝飛雲閣（予定）
11:00~11:30	基調講演 I (新川達郎 同志社大学)	協働型社会における人材の育成と活用
11:30~12:00	基調講演 II (文部科学省)	公共政策系高等教育機関の認証・評価
13:00~13:30	優秀発表表彰	表彰および口頭発表
13:40~14:00	報告 (富野暉一郎、龍谷大)	地域人材開発機構に関する研究会の 研究成果
14:15~16:30	パネルディスカッション コーディネーター (足立幸男 京大) パネラー (調整中)	公共政策系教育研修システムと その社会的認証

注 講演者等については調整中につき今後変更することがあります

学生による政策コンペ募集要領

1. 企画の趣旨

公共政策学を学ぶことは、社会の現実課題に対する鋭い問題意識を持ち、課題を分析し解決策を提示するための方法論を深く身に着けることです。この政策コンペでは、全国から集まった学生が研究成果の発表を通じて相互に刺激しあい、多様な方法論と現実社会への発信力を高めあう機会を提供したいと考えています。

2. テーマ 21世紀の公共政策を考える

分野は問いません。政策提言だけでなく、課題の分析、分析のための方法論など自由に選択して下さい。（発表は応募論文の内容に応じて分科会を設定します）

3. スケジュール

6月15日（金） エントリー（1次申し込み）締め切り（*1、別紙1）

8月17日（金） 発表用予稿提出締め切り（郵送・事務局必着）

8月27日（月） 発表用予稿集配布（審査員、発表者／代表者）

9月 3日（月） 午後1時～5時 研究発表（20分）分科会形式

午後5時～5時30分 審査

午後5時30分～5時45分 審査結果の発表

9月 4日（火） 午後1時 優秀発表表彰 および優秀研究口頭発表

12月末 優秀研究発表等の論文提出締め切り

2008年2月末まで 政策コンペ論文集発刊・送付

4. 発表の内容について

政策提言だけでなく、地域社会や政策に関する分析・あるいはその方法論なども対象とします。

5. 参加資格 : 学部学生（個人、チーム）

6. 予稿について

発表用予稿は、論文のアブストラクトとし、字数は3,000字以上。（上限なし）

発表用の予稿の内容も当日の審査対象となります。また、予稿の提出用紙等は、エントリーしたチーム宛に別途送りますので、期限までに事務局に郵送して下さい。

7. 優秀発表の論文提出について

学生政策コンペを充実させていくために、全ての発表を集成した論文集を発行して関係者・関係機関に配付します。特に表彰の対象となった発表は発表後に予稿を論文形式にまとめることを求めますが、その他の発表についても可能な限り予稿を論文形式にまとめ直すこととします。

(*1) エントリー（1次申し込み）用紙（別紙）に必要事項を記入して締め切り日までに事務局に郵送またはFAXして下さい。

(別紙)

【受付日】 月 日 【整理番号】

「公共政策フォーラム2007 IN 京都」学生による政策コンペ用エントリー用紙
(郵送または FAX で下記まで申し込んで下さい)

代表者名	
連絡先住所	
電話番号 FAX 番号	
メール アドレス	
所属・ 指導教員	
発表単位 グループ等	
発表テーマ 50字以内	
発表概要 200字以内	

申込先 龍谷大学地域人材公共政策開発システム・オープンリサーチセンター (LORC)
公共政策フォーラム2007 IN 京都 事務局
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL 075-645-2154 FAX 075-645-2240
担当 田村 瞳